

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中小企業融資あっ旋事業	所管	市民経済部 商工労政課
			TEL 2998-9155

事業の目的 (何の為に 行うか)	中小企業者が必要とする事業運転資金及び設備資金を、低利率にて金融機関に融資あっ旋することで、中小企業者の事業振興を図るとともに経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与するものである。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	融資申込者	対象とした数	64	件
		実際に 利用した数	58	件

活動の内容	(何を したか)	融資実行までの流れは以下のとおりである。 ①中小企業者からの相談を受け、該当する資金の内容を説明し、必要書類を交付する。 ②申込者からの申込みを受け、内容を審査する。(案件内容に応じて、審査会に付する。) ③融資妥当と判断されたものについて、金融機関に融資依頼を行う。 ④金融機関は、市からの融資依頼を受け、埼玉県信用保証協会に審査を依頼する。 ⑤保証協会の承認を得られた案件について、金融機関は融資を実行する。							
	活動実績	項目名	融資金額	467800	項目名	代位弁済件数	17	項目名	単位
			単位 千円			単位 件			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,170	7,145	16,257	47.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	融資あっ旋件数	制度全体の年間融資あっ旋件数	100	58	58.0
			単位 件	単位 件	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	031100	TEL	2998-9155
事業コード	中小企業融資あっ旋事業	市民経済部	商工労政課			
031111		グループ	金融担当			
開始年度	昭和 48 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市中小企業融資規則			
	関連・類似事業	中小企業借入金金利補給事業			
	総合計画の体系	政策	第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	2節 商業
		中柱	2 経営基盤の強化	小柱	(3) 融資制度の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 20 位				
	・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード		コード		
	事業開始の背景	中小企業者は、一般の金融機関から設備資金や長期運転資金の供給を受けにくいことが事業開始の背景である。国はもとより県においても同様の施策を実施しているが、市は、利用者にとって最も身近な窓口となっている。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	中小企業者が必要とする事業運転資金及び設備資金を、低利率にて金融機関に融資あっ旋することで、中小企業者の事業振興を図るとともに経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与するものである。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)								
	融資申込者			利用数の考え方					
	対象数	単位	平成 18 年度	68	件	利用数	単位	平成 18 年度	64
		平成 19 年度	64	件			平成 19 年度	58	件
	事業の具体的な内容及び実施方法								
	融資実行までの流れは以下のとおりである。 ①中小企業者からの相談を受け、該当する資金の内容を説明し、必要書類を交付する。 ②申込者からの申込みを受け、内容を審査する。(案件内容に応じて、審査会に付する。) ③融資妥当と判断されたものについて、金融機関に融資依頼を行う。 ④金融機関は、市からの融資依頼を受け、埼玉県信用保証協会に審査を依頼する。 ⑤保証協会の承認を得られた案件について、金融機関は融資を実行する。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	金融機関が融資内容について一定の責任を担うという、「責任共有制度」の導入を受け、融資制度の全面的な見直しを行った。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		6,104	8,170	7,911
	決 算 (見込み含む)		9,574	7,145	
		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	
	正規職員人件費		1.33 人 12,236	0.97 人 9,112	
					※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		21,810	16,257	
	財源内訳	一般財源	21,810	8,170	7,911
		国・県支出金			
	受益者負担金				
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		64.5	47.9	
	利用数一単位あたり(単位:円)		340,781.3	280,296.2	

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	融資金額	市の融資制度による融資金額	千円	/	353,330	467,800		
		代位弁済件数		件		9	17		
	成果分析	融資あっ旋件数	制度全体の年間融資あっ旋件数	件	目標値	100	100		
					実績	64	58		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
%				達成率	64.0	58.0			

⑦一次評価	評価項目	現 状 評 価	評価項目	現 状 評 価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	平成19年10月に、責任共有制度の導入に伴う制度の改正を行ったところであり、現在その影響を検証している。真に融資が必要な中小企業に融資が実行される制度として充実を図る。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	制度改訂後の活用状況を検証し、必要に応じて制度の見直しを行う	中小企業にとって、より意義のある制度にするため、引き続き制度の見直しを行う。	平成20年度	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	サブプライムローン問題の影響や原油の高騰など、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、市融資制度の重要性が高まっている。外部環境の変化に合わせて、利率の変更など、柔軟に対応していくとともに、制度を適切に運用し、中小企業の経営の安定化に寄与していくことを目指す。予算措置は債務負担行為に基づくものであり、現状どおりとする。			
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	商工労政課長 尾村俊和	

⑧二次評価	事後評価					
	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 25 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市内中小企業の経営の安定化と経営基盤の強化を図るには、本事業は大変有効である。また、市長公約にも掲げられていることから「優先的に資源配分」と評価した。				
	評価日	9月1日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			